

沖縄県公安委員会定例会会議録（令和7年8月28日）

1 主な報告等

(1) 育児休暇取得者等復職支援セミナーの開催について

委員から、育児休暇者を対象としたセミナーを開催してほしいという職員からの意見を具現化した素晴らしい取組だ。職員の要望を真摯に受け止めていち早く行動し、託児所の設置や乳幼児の一次救命処置を講話に取り入れるなど、子育て世代に必要な工夫が凝らされていることにも感心する。民間企業の復職支援の一例として、対象者に全ての部署を一週間ずつ経験させた後、元の職場に戻すという心理的ハードルを下げるプログラムもある。今後ともきめ細やかな対応をしてほしい旨の発言があった。

(2) 学校と連携した少年非行防止・被害防止対策について

～私立通信制高校と「生徒健全育成サポート制度」協定の締結式～

委員から、学校との連携を通信制高校にまで広げたアイデアは、非常に目の付け所がよい。通信制高校は今後も色々な形で増えていくだろう。警察との連携により先生から生徒への意識が高まるほか、生徒にとっても相談できる相手が増え、非行防止や被害防止の効果が期待できる。連携することによるメリットを打ち出し、まだ協定を締結していない通信制高校にも広げ、通信制高校間の連携や相互の信頼関係を構築してもらいたい旨の発言があった。

(3) 地域警察官における催涙スプレーの運用開始について

委員から、警察官の受傷事故防止対策が強化されることは非常によいことだ。ただ、運用に際しては県民に広報した方がよい。警察官が催涙スプレーを持っていることを知っていれば、抵抗しようとする者も思いとどまることにつながると思う。これまで携帯していた催涙スプレーの使用実績が少なかったことや、今回、性能も改良されたということを踏まえ、新しい機種の特長を生かせるよう、訓練を通じて色々な課題をクリアし、適正に使用して警察官の受傷事故防止を図ってもらいたい旨の発言があった。

(4) 令和7年上半期における特殊詐欺及びSNS型投資詐欺・ロマンス詐欺の認知状況等について

委員から、被害件数や被害額が去年の同期と比べ大幅に増え、しかもニセ警察官詐欺の手口が顕著に増加しているなど驚愕している。子供の頃、悪いことをしたら警察へ連れて行くぞと言われたものだ。それほど警察は信頼されているが、その信頼が悪用されてしまっている。県民のSNSリテラシーを高める必要があると思うが、言葉や文字だけで特殊詐欺やSNS型投資詐欺を説明しても伝わりにくいだろう。テレビで、ドラマ仕立てに編集して注意を呼びかけているニュース番組を見たことがある。著作権者に利用許諾を得て、高齢者への講話等で活用してみてはどうか。また、コミュニティFMは地域リスナーが多く、ずっと放送している店舗も

ある。地域を知る人が地域のことを語っているので積極的に利用すべきだ。県民への情報発信について、様々なコンテンツを活用するなど工夫してもらいたい。検挙も、抑止も全国的に取り組まなければならない課題であるので、引き続き取組を強化してほしい旨の発言があった。

(5) その他

警察本部から、今回優勝した高校球児のインタビューを聞いていると、多くの選手が周囲への感謝を述べていた。少年の健全育成には、周囲の環境をどのように整備するかが重要だと改めて感じた。今回、私立通信制高校との連携を報告したが、警察としても、未来を担う存在を育てているという認識をしっかりと持ちながら、学校、教育委員会等関係機関ときめ細かく連携して環境整備を進めていきたい旨の発言があった。

2 主な決裁等

(1) 警務部

- ・ 公安委員会宛て意見要望について
- ・ ポロシャツ型夏服上衣の導入について
- ・ 人事関係報告
- ・ 弁明書の作成について
- ・ 監察関係報告
- ・ 再審査申請の申請について

(2) 地域部

- ・ 水上安全条例の改正に関する説明について